

オフィシャルシャンパン モエ・エ・シャンドン

**2026年フォーミュラ1® シンガポールグランプリ
表彰台から街へ、勝利と歓喜の瞬間を彩る**

モエ ヘネシー ジャパン株式会社（東京都千代田区神田神保町）の取扱いブランドであるシャンパン メゾン モエ・エ・シャンドン（MOËT & CHANDON）は、フォーミュラ1®のオフィシャルシャンパンとして、LVMHとフォーミュラ1®による10年間のグローバルパートナーシップのもと、2026年10月11日（日）に開催された「フォーミュラ1® シンガポール航空 シンガポールグランプリ 2026（FORMULA 1 SINGAPORE AIRLINES SINGAPORE GRAND PRIX 2026）」において、勝利の瞬間を祝いました。

2025年のオフィシャルシャンパンへの復帰に続き、モータースポーツの頂点との結びつきをさらに深めながら、卓越性と感動によって築かれてきたレガシーを受け継いでいきます。勝利は決して一人で成し遂げられるものではありません。それはチーム、そしてファンとともに分かち合う特別な瞬間です。マリナ・ベイ市街地サーキットの照明のもと、マックス・フェルスタッペンやシャルル・ルクレールらが歓喜を分かち合う祝福の瞬間に、モエ・エ・シャンドンが華を添えました。

受け継がれるセレブレーションのレガシー

モエ・エ・シャンドンとフォーミュラ1®の結びつきは、1950年、ランス・グーで開催されたフランスグランプリに遡ります。当時、フレデリック・シャンドン・ド・ブリアイユが優勝ドライバーにシャンパンを贈ったことをきっかけに、「セレブレーション ジェロボアム」という勝利の瞬間を祝う伝統が生まれました。ジェロボアムボトル（3Lボトル）は、歴代のチャンピオンを称え、勝利と感動を分かち合う象徴として受け継がれています。

シャンパーニュ地方・エペルネにあるメゾンの歴史的セラーには、フォーミュラ1®のために特別に保管された希少なジェロボアムボトルが眠っています。グランプリの舞台に届けられると、ボトルには優勝ドライバーのサインが刻まれ、表彰台でチームとともに分かち合われます。一本一本には、幾十年にもわたる歴史、歴代チャンピオンのサイン、そして数えきれない勝利と達成の記憶が宿っています。

モエ・エ・シャンドンとフォーミュラ1®は、精密さ、卓越性、そして人の技へのこだわりという共通の価値観で結ばれています。ドライバーの一つひとつの精緻な動作は、シャンパン造りにおける丹念なクラフツマンシップと響き合い、チームの絶え間ない献身は、セラーマスターの卓越した技術と重なります。

モエ・エ・シャンドン 社長兼CEO シビレ・シェラーのコメント

「フォーミュラ1®への復帰から2シーズン目を迎えるにあたり、私たちのパートナーシップは単なる“復帰”にとどまらず、未来へと受け継がれる関係性へと進化しています。精密さと卓越性の追求によって、両者は強く結びついています。モエ・エ・シャンドンとフォーミュラ1®は、それぞれの世界を形づくるクラフツマンシップ、チームワーク、そして情熱を称えています。私たちはこれからも共に、表彰台を“分かち合う勝利の瞬間”へと高め続け、あらゆる達成や勝利の背後にある“飲びの共有”に敬意を表してまいります。」

モエ・エ・シャンドンが彩るフォーミュラ1®のセレブレーション

2026年、モエ・エ・シャンドンは、レース後の祝福の一つひとつの場面でドライバーとチームに寄り添い、勝利を深い感動と記憶の共有へとつなげます。その物語は、レース直後のパルクフェルメ（レースを終えたマシンが集まるエリア）から始まります。舞台裏で極限の精度を追求し続け、パフォーマンスを支えるチームにスポットライトが当たり、その努力が称えられます。

続いて、優勝ドライバーは勝利の記念として「セレブレーション ジェロボアム」にサインを施し、クールダウンルームへと向かいます。そこではドライバーたちがレースを振り返り、達成の喜びを改めて実感します。そして、表彰台へと続く通路へ。その一步一步に誇りと高揚感が満ち、歴代のチャンピオンたちが刻んできた栄光と重なっていきます。



表彰台へと続く通路（左）／「Moët Club」で祝杯を交わすゲスト（右）

シンガポールの街へ広がる、分かち合う祝福

レースウィークの中心となったのは、ナショナル・ギャラリー・シンガポールのテラスで開催された特別な体験「Moët Club（モエ クラブ）」です。フォーミュラ1®の表彰台でのセレブレーションを再現した演出や、歴代グランプリ優勝者のサイン入りジェロボアムボトルを展示するウォールなどを通じ、ゲストはモエ・エ・シャンドンならではの祝福の世界を体感しました。

「Moët Club」には、メゾンと親交の深い「フレンズ オブ ザ ハウス」が集い、モエ・エ・シャンドンのグラスを手に、レースウィークの高揚感を分かち合いました。フィリピンとオーストラリアにルーツを持ち、俳優・テレビ司会者・歌手として活躍するアン・カーティス、タイの俳優・モデルのバイブル・ウィチャパス・スメーティクン、シンガポールで活躍するウィラベル・オンやエルヴィン・ンら、多彩なゲストが参加しました。

祝福はサーキットを越え、シンガポール各地のレストラン、ホテル、ショップ、ナイトスポットへと広がりました。「メゾン・ブルー」では「モエ・エ・シャンドン グランヴィンテージ 2016」が主役となり、メゾンの創業年1743年にちなみ、毎日17時43分にシャンパンタワーへシャンパンを注ぐ演出を実施。週末の締めくくりには「アンバー・ラウンジ」で、モエ・エ・シャンドンが協賛するフォーミュラ1®公式アフターパーティーが開催され、祝福は夜更けまで続きました。

「Moët Club」から街中のパートナーレストラン、ホテル、バー、ショップまで。モエ・エ・シャンドンは、表彰台の祝福をシンガポールの街全体へと広げました。多くの人々やメゾンと親交の深いゲストがともにグラスを掲げ、レースウィークは喜びを分かち合う時間に。「勝利は、分かち合うことでより輝く」というメゾンの変わらぬ信念を体現しました。

ABOUT MOËT & CHANDON モエ・エ・シャンドンについて



1743年に創業したモエ・エ・シャンドンは、シャンパーニュ地方最大のテロワールを基盤に、豊かで多彩なシャンパンのポートフォリオを通じて、そのサヴォワフェール（卓越した技術）を世界へと届けています。150カ国以上で展開するメゾンのクラフツマンシップは、シャンパンを感動へと昇華する芸術です。それは、多くの人々の手と想いによって紡がれる共同の創造であり、一本一本のボトルが歓びと祝福を分かち合うきっかけとなります。

「人生は分かち合うことでより豊かになる」という深い信念のもと、メゾンのラインナップには、時代を超えて愛される「モエ アンペリアル」、その年ならではの個性を表現する「グラン ヴィンテージ」、氷とともに楽しむために初めて開発されたシャンパン「アイス アンペリアル」、そしてオート・エノロジー（卓越した醸造技術）の最高峰を体現する「コレクション アンペリアル」などが揃います。それぞれのキュヴェは、いきいきとした果実味、洗練された熟成感、そして自然体で楽しめる心地よさを、一口ごとに表現しています。

シャンパーニュを代表するメゾンとして、モエ・エ・シャンドンは人々とコミュニティの豊かな暮らしを大切に、「ナチュラル ノストラ」および「エッセンシア」といったサステナビリティ・プログラムを通じて責任ある取り組みを推進し、未来の世代へと守られた自然を引き継ぐことに尽力しています。

公式サイト : <https://www.moet.com/ja-jp>
公式LINEアカウント : <https://lin.ee/aK9ulUb>
Facebook : <https://www.facebook.com/moet.jp>
Instagram : <https://www.instagram.com/moetchandon/>

ABOUT FORMULA 1® フォーミュラ1®について

フォーミュラ1®は1950年に始まり、世界で最も権威あるモータースポーツ競技であると同時に、世界で最も人気のある年間スポーツシリーズです。Formula One World Championship Limitedはフォーミュラ1®の一部であり、FIAフォーミュラ・ワン世界選手権™の商業権を独占的に保有しています。フォーミュラ1®は、Liberty Media Corporation（NASDAQ：FWONA、FWONK）の子会社であり、Formula One Groupのトラッキングストックに紐づけられています。F1ロゴ、F1 FORMULA 1ロゴ、FORMULA 1、F1、FIA FORMULA ONE WORLD CHAMPIONSHIP、GRAND PRIX、PADDOCK CLUBおよび関連する標章は、Formula One Licensing BV（フォーミュラ1関連企業）の商標です。All rights reserved.